

件名	概要	議決結果																										
平成23年度大木町健全化判断比率及び資金不足比率の報告	<p>健全化判断比率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実質赤字比率</th> <th>連結実質赤字比率</th> <th>実質公債費比率</th> <th>将来負担比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大木町健全化判断比率</td> <td>— %</td> <td>— %</td> <td>8.3%</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>早期健全化基準</td> <td>15.0%</td> <td>20.0%</td> <td>25.0%</td> <td>350.0%</td> </tr> <tr> <td>財政再生基準</td> <td>20.0%</td> <td>30.0%</td> <td>35.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※実質赤字比率および連結実質赤字比率は赤字額がないため比率は算定していない。 実質公債費比率は、前年度より0.3%高い。 将来負担比率も、前年度より改善している。 いずれの比率も国が定めた早期健全化基準を下回っている。</p> <p>資金不足比率の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>資金不足比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大木町水道事業資金不足比率</td> <td>— %</td> </tr> <tr> <td>経営健全化基準</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※資金不足額は生じていないため比率は算出していない。</p>		実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	大木町健全化判断比率	— %	— %	8.3%	— %	早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%	財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%			資金不足比率	大木町水道事業資金不足比率	— %	経営健全化基準	20.0%	報告のみ
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率																								
大木町健全化判断比率	— %	— %	8.3%	— %																								
早期健全化基準	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%																								
財政再生基準	20.0%	30.0%	35.0%																									
	資金不足比率																											
大木町水道事業資金不足比率	— %																											
経営健全化基準	20.0%																											
株式会社大木町健康づくり公社 経営状況報告	<ul style="list-style-type: none"> ●23年度入場者数は、対前年比プラス11,560名(7%増)。5月に開設した「アクアスポーツクラブ」が好評で入館者が順調に伸びている。委託事業のまち歩き活性化事業においては、誰でも気軽に参加できるバラエティに富んだウォーキングイベントを年5回開催した。 ●大木循環センターの生ごみ受け入れ量は、対前年比3.4%増、液肥散布面積及び手数料は対前年比約15%増。 ●道の駅事業では、集客イベントを54回開催したが、直売所では対前年比で売上マイナス20%となったが12月よりプラスに転じ、3月には毎週土曜日の上五島の鮮魚類の販売も開催した。レストランでは対前年比で売上マイナス7%となったが、変動費やその他の経費の見直し等を行い、対前年比で利益は改善した。 	報告のみ																										
財団法人ひしのみ国際交流センター 活動状況報告	<ul style="list-style-type: none"> ●会員や地域に対し図書や資料等を活用して海外の様々な情報を提供し、また町内在住の外国人のための相談窓口を開設し、主に町内で働く外国人研修生を対象にサービスを行った。 ●さまざまな国、地域の文化や習慣を学んだり外国人とのふれあいをしながら、「国際理解の推進」を目指し、さらに日本文化、地域文化も再認識してもらう機会づくりを目指した。 	報告のみ																										

平成24年度一般会計補正予算(第3号)

全員賛成で可決

6317万1千円増 総額48億7681万1千円

【主な歳入】

- ・社会資本整備総合交付金……………500万5千円
- ・地域子育て支援拠点施設環境改善事業費補助金……………600万円
- ・農業用施設災害復旧事業費補助金……………1134万円
- ・戸別所得補償経営安定推進事業費補助金……………780万円

【主な歳出】

- ・地域防災計画改訂等業務委託料……………340万円
- ・青年就農支援金及び農地集積協力金あわせて……………750万円
- ・交通安全施設等整備事業費……………2653万円
- ・農業用施設災害復旧事業費……………1285万2千円

平成24年度大木町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

全員賛成で可決

676万7千円増 総額16億1631万8千円

平成24年度大木町水道事業会計補正予算(第1号)

全員賛成で可決

収益的支出101万7千円増 総額2億1207万4千円

平成23年度
一般会計及び特別会計
決算審査監査委員報告

平成23年度一般会計は、こっぴーつとガーデン整備事業、大莞小学校管理棟大規模改修事業をはじめ、町道10号線自歩道設置事業、災害時要援護者支援事業、障害者相談支援事業、農産物加工の開発事業など住民福祉の向上に向けた諸事業が積極的に計画、執行された。

特別会計の国保・後期高齢事業は、高齢化社会の進行、医療費の上昇など厳しい財政状況にあつて、両事業会計とも実質収支において黒字決算となり得たが、国保会計は、前年度からの繰越金96,350千円余りがあつたことによるものであり、一段と国保財政は厳しい状況となつている。

水道事業は、町民生活に密着した事業で、需要者へのサービスを第一に、経営の効率化、経済性の追求に努められた結果、黒字決算をなし得たことは評価するところである。今後とも公営企業の使命を追求し、一層の努力をお願する。

代表監査委員 川村和正